

教育内容	専門分野 母性看護学	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	母性看護学概論	単位 1単位	次世代の健全な育成と、性と生殖の健康について理解し、女性の生涯にわたる健康の保持増進に向けての課題や看護の役割について学ぶ			
担当講師	増本 綾子 看護師臨床経験:10年以上 教育経験:10年以上	時間数 20時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	母性の概念と母性の発達 対象理解の基盤となる概念	・母性と母性愛 ・母性、父性、親性の発達 ・母子相互作用、愛着形成 ・家族の発達と機能	講義	増本 綾子	基礎分野 文化社会学
	2	人間の性と生殖の意義と人権	・セクシュアリティ ・セックスとジェンダー ・性の多様性	講義		専門基礎分野 看護形態機能学Ⅲ
	3	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	・人口問題と性的人権 ・女性の自己決定権 ・ヘルスプロモーション	講義		病態と治療Ⅴ 公衆衛生学 関係法規Ⅰ 関係法規Ⅱ
	4	母性看護と生命倫理	・産むこと、産まないことと倫理 ・生殖補助医療、出生前診断 ・人工妊娠中絶	講義		社会福祉Ⅰ 社会福祉Ⅱ
	5	母子保健の動向と少子化対策	・出生数の減少と子育ての変化 ・女性の就業率 ・婚姻、離婚	講義		専門分野 看護学概論 家族看護論 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 精神看護学概論
	6	母性看護に関する法律と母子保健 施策	・母子保健・福祉に関する法律 ・働く妊産婦に関する法律 ・次世代育成に関する法律	講義		母性援助論Ⅰ 母性援助論Ⅱ 母性援助論Ⅲ 看護管理・看護倫理
	7	女性のライフサイクルと看護	・現代女性のライフサイクル ・ホルモンの変化と身体の変化 ・DV、性暴力被害	講義		
	8	思春期女性の健康課題と看護	・第二次性徴 ・性意識・性行動の発達 ・月経異常と月経随伴症状 ・予期しない妊娠、性感染症	講義		
	9	成熟期女性の健康課題と看護	・妊娠、出産、子育て世代の葛藤 ・不妊症 ・女性の特有のがん	講義		
	10	更年期女性の健康課題と看護	・エストロゲンの低下と閉経 ・更年期障害 ・尿失禁、骨粗しょう症	講義45分		
11	終講試験	筆記試験	試験45分			
評価方法	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論 医学書院 看護のための人間発達学 第5版 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 母子手帳					

教育内容	専門分野 母性看護学	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	母性援助論 I	単位 1単位	正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦・新生児の理解と看護実践能力を養うとともに、 ウェルネスの視点で母子やその家族に関わり、時期に応じた適切な援助について学ぶ			
担当講師	増本 綾子 助産師臨床経験:10年以上 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	2 さまざまな場面に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	妊娠期の身体的特性	・妊娠の成立 ・受精、着床 ・妊娠週数 ・妊娠の経過と胎児の発育	講義	増本 綾子	基礎分野
	2	妊娠期の心理・社会的変化	・母体の生理的变化 ・妊婦の心理 ・妊婦と家族および社会(勤労妊婦、社会資源)	講義		専門基礎分野 看護形態機能学Ⅲ 病態と治療Ⅴ
	3	妊婦と胎児のアセスメント	・妊娠とその診断 ・妊婦と胎児の経過のアセスメント ・妊婦の健康生活とアセスメント	講義		専門分野 看護学概論 家族看護論 母性看護学概論 母性援助論Ⅱ 母性援助論Ⅲ
	4	妊婦と家族の看護	・妊娠中の食生活 ・セルフケア ・マイナートラブルへの対応 ・親になるための準備教育	講義		
	5	分娩の経過	・分娩の三要素 ・分娩の機序 ・分娩の進行と産婦の身体的変化 ・産婦の心理・社会的変化	講義		
	6	産婦・胎児、家族のアセスメント	・産婦と胎児の健康状態のアセスメント ・産婦と家族の心理・社会面のアセスメント	講義		
	7	産婦と家族の看護	・安全、安楽な分娩への看護 ・満足のいくお産体験への看護 ・基本的ニーズに対する看護	講義		
	8	産褥期の身体的変化	・生殖器、全身の変化 ・乳房の変化	講義		
	9	産褥期の心理・社会的変化	・母親への適応過程 ・マタニティブルー ・家族の心理的变化	講義		
	10	褥婦のアセスメント	・産褥経過のアセスメント ・褥婦の健康生活のアセスメント	講義		
	11	褥婦と家族の看護	・復古の促進、身体の回復 ・日常生活とセルフケア ・育児に関わる支援	講義		
	12	新生児の生理	・新生児の定義 ・新生児の生理的变化	講義		
	13	新生児のアセスメント	・出生直後の評価 ・新生児の健康状態のアセスメント ・新生児期に実施される検査	講義		
	14	新生児の看護	・出生直後の看護 ・出生後から退院まで	講義		
	15	退院後の看護	・育児支援、産後ケア ・社会資源	講義45分		
16	終講試験	筆記試験	試験45分			
評価方法	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院					

教育内容	専門分野 母性看護学	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	母性援助論Ⅱ	単位 1単位	子どもを産み育てる過程において、特別なニーズをもつ妊産婦、新生児への看護を学ぶ			
担当講師	羽賀田 千晶 助産師臨床経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 ささまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	妊娠期の健康問題を予測する	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク妊娠とは リスクを予測する意義 問診・妊娠リスクスコアについて 周産期医療の体制 ハイリスク分娩を扱う医療機関 中リスク分娩を扱う医療機関 低リスク分娩を扱う医療機関 	講義	羽賀田 千晶	基礎分野
	2	身体的ハイリスク妊婦の看護	<ul style="list-style-type: none"> 切迫流・早産 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 感染症 風疹、トキソプラズマ症、B型肝炎、GBSなど□ 	講義		専門基礎分野 看護形態機能学Ⅲ 病態と治療Ⅴ
	3	社会的ハイリスク妊婦の看護	<ul style="list-style-type: none"> 社会的ハイリスクとは スクリーニング方法 社会的ハイリスク妊産婦への支援 未受診妊婦 社会的ハイリスクの課題 	講義	専門分野 母性看護学概論	
	4	分娩期の正常からの逸脱に関する看護	<ul style="list-style-type: none"> 分娩の三要素の異常 産道の異常 娩出力の異常 胎児付属物の異常 胎児機能不全 胎児の異常 胎位の異常、回旋の異常 	講義	母性援助論Ⅰ 母性援助論Ⅲ 医療安全	
	5	妊娠期・分娩期の異常出血に対する看護	<ul style="list-style-type: none"> 産科異常出血の分類・鑑別 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、 産科ショック、羊水塞栓症、DIC 異常出血時の対応 	講義		
	6	ハイリスク褥婦の看護1	<ul style="list-style-type: none"> 帝王切開術を受ける産婦 産褥熱、子宮復古不全、乳腺炎 	講義		
	7	ハイリスク褥婦の看護2	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害合併妊娠、産後うつ病 流産・死産 	講義		
	8	終講試験	筆記試験	試験45分		
評価方法	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院					

教育内容	専門分野 母性看護学	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	母性援助論Ⅲ	単位 1単位	妊産褥婦および新生児に応じた看護が展開できる能力を養う			
担当講師	羽賀田 千晶 助産師臨床経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	2 さまざまな場面に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	
	1	母性看護における看護過程	・マタニティサイクルの看護の特徴 ・ヘルスアセスメント ・ウェルネス看護診断	講義	羽賀田 千晶	基礎分野 心理学 人間関係論演習 教育学
	2	妊娠期の看護過程の展開1	・妊娠中期の看護展開 妊婦と胎児のアセスメント 看護計画立案	講義		専門基礎分野 看護形態機能学Ⅲ 病態と治療Ⅴ
	3	妊娠期の看護過程の展開2	・妊娠後期の看護展開 妊婦と胎児のアセスメント 看護計画立案	講義		専門分野 家族看護論 看護の思考過程 母性看護学概論 母性援助論Ⅰ 母性援助論Ⅱ 医療安全 看護管理・看護倫理
	4	妊娠期の看護過程の展開3	・妊娠中期の妊婦への健康教育と評価 ・妊娠後期の妊婦への健康教育と評価	演習		
	5	妊娠期・分娩期に必要な看護技術	・レオポルド触診法 ・子宮底長、腹囲計測 ・胎児心音の聴取 ・産痛の緩和法	演習		
	6	分娩期の看護過程の展開1	・分娩第1期の産婦と胎児のアセスメント ・看護計画立案	講義		
	7	分娩期の看護過程の展開2	・分娩第2・3期の産婦と胎児のアセスメント ・看護計画立案	講義		
	8	産褥期の看護過程の展開1	・産褥早期の看護展開 身体的変化のアセスメント 心理社会的変化のアセスメント 看護計画立案	講義		
	9	産褥期の看護過程の展開2	・退院に向けての看護展開 親役割獲得のアセスメント 退院後の生活環境のアセスメント	講義		
	10	産褥期の看護過程の展開3	・産褥早期の褥婦への健康教育 ・退院前の褥婦への健康教育	演習		
	11	産褥期に必要な看護技術	・フィジカルアセスメント技術 ・ポジショニング、ラッチオンの技術	演習		
	12	新生児の看護過程の展開1	・新生児の看護展開 身体変化のアセスメント 生活環境のアセスメント	講義		
	13	新生児の看護過程の展開2	・新生児の生理的变化促進への健康教育 ・新生児の退院後の生活への健康教育	演習		
	14	新生児に必要な看護技術	・沐浴 ・フィジカルアセスメント	演習		
	15	まとめ	妊産褥婦・新生児の看護展開	講義45分		
16	終講試験	筆記試験	試験45分			
評価方法	筆記試験(6割) レポート(4割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院					